

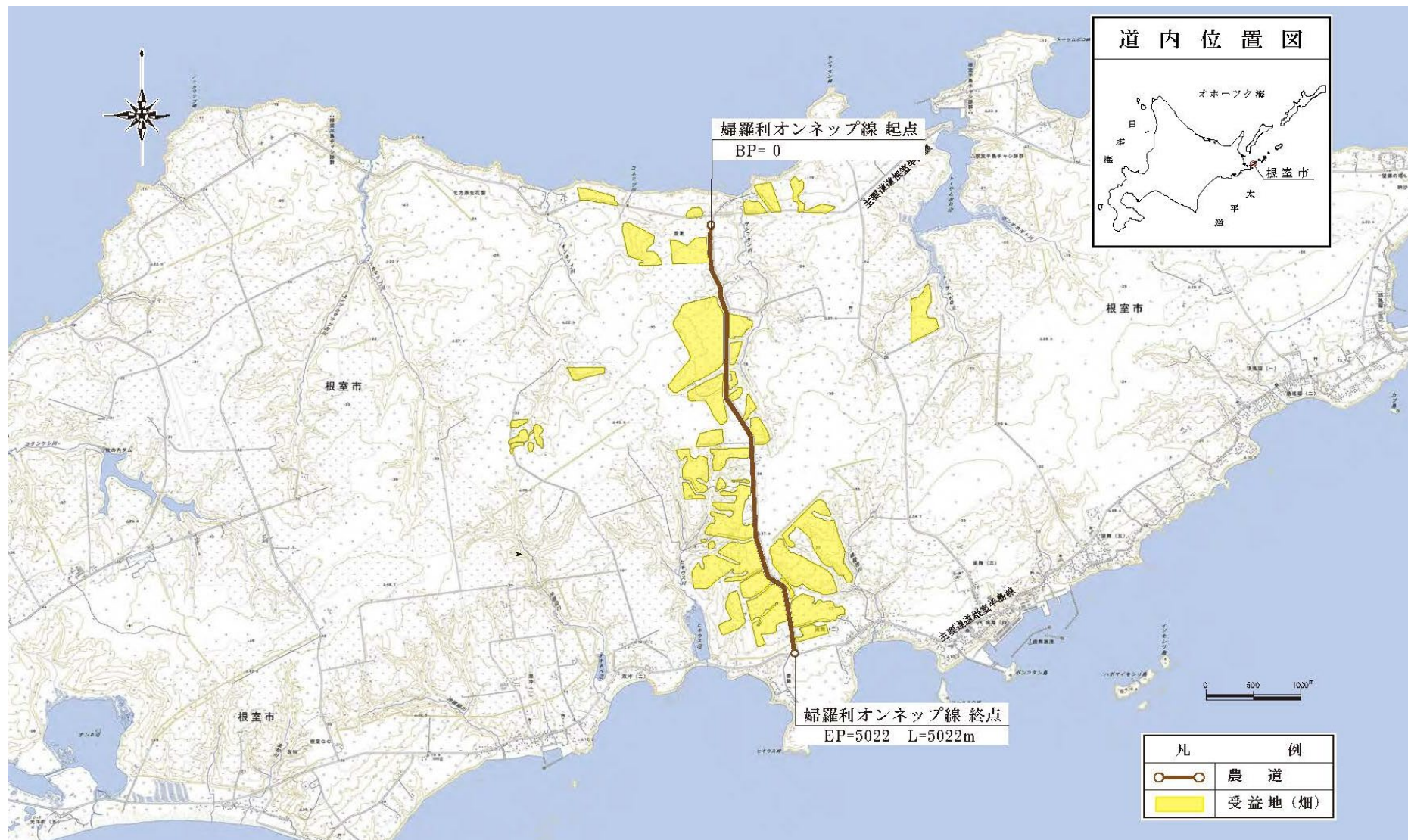
地区別事業概要

事業名	農村整備事業		地区名	はほまい 歯舞
関係市町村	北海道 ^{ねむろし} 根室市		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道の東部（道東）、根室市に位置している。この地域は酪農経営が展開されている農業地帯であり、地区内では牧草の作付けがされている。 本計画路線は団体営農道整備事業及び根室市単独事業で整備された農道であり、張り付き農家2戸を含む、3戸の受益農家の通作や農産物輸送、並びに生活道路として利用されている。 しかし、砂利道であり、また農産物輸送車両（集乳車や農業用トラック）の大型化が進んだ結果、路面・路肩の損傷や降雨・融雪時の路面の泥濘化、及び牧草への砂塵被害といった問題が発生し、効率的かつ円滑な通作・農産物輸送に支障を来している状況である。 このため、本事業により農道をアスファルト舗装に整備することで走行性の向上を図り、併せて泥濘化による運行障害や砂塵による被害を解消することにより、農村に安心して住み続けられる条件を整備し、農村の持続性の向上を図ることとする。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	262ha	3戸	1,500百万円	令和7～14年度
	主要工事	農道 5km		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,744百万円	1,524百万円	1.80	総費用総便益方式
概 要 図	別添のとおり			

出典：歯舞地区土地改良事業計画概要書（北海道根室振興局農村振興課作成）

概 要 図

農村整備事業 鹵舞地区



地区別事業概要

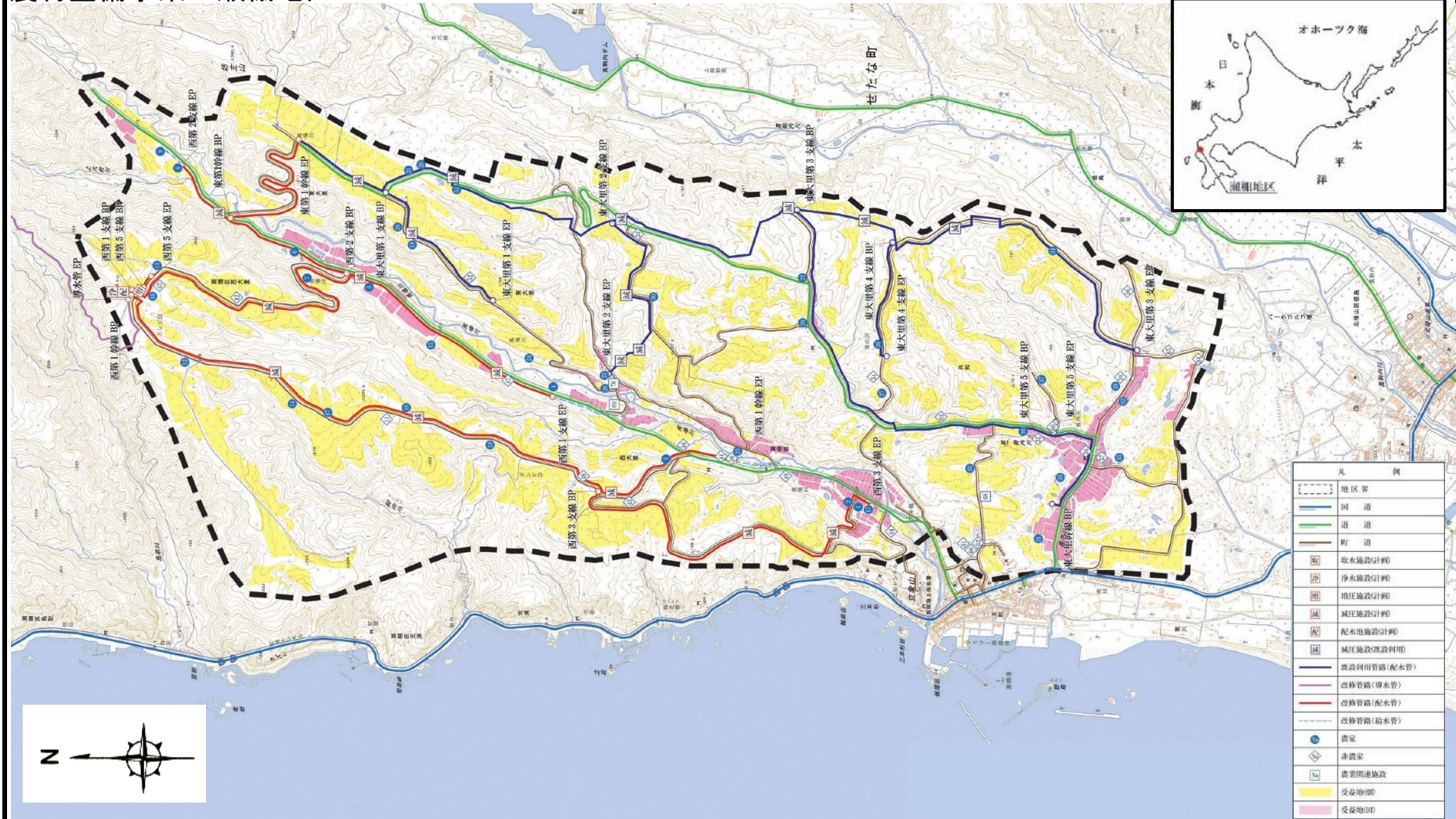
事業名	農村整備事業		地区名	瀬棚 ^{せたな}
関係市町村	北海道 ^{くどうぐん} 久遠郡 ^{ちやう} せたな町		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道南部のせたな町に位置し、酪農経営を中心とした営農が展開されている。 これまで地内区の営農飲雑用水施設は、道営畑地帯総合整備事業「瀬棚地区」（S54～S58）により造成され、約 42 年が経過し、経年的な施設の劣化によりコンクリート構造物の欠損、鋼構造物の腐食及び配水管からの漏水が発生するなど、安定した営農飲雑用水の供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な労力を要している状況であり併せて災害時に対応した施設の機能強化対策が求められている。また、造成当時の営農形態の変遷により水利用の再編も必要となっている。 このため、本事業により、機能保全計画に基づく保全対策と災害対策のための施設の耐震対策を行うことにより、安定した営農飲雑用水を確保し、維持管理の労力の軽減及び水利用の再編を行うことで、農村に安心して住み続けられる条件を整備し、農村の持続性の向上を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,027ha	70 戸	2,900 百万円	令和 7～20 年度
	主要工事	営農飲雑用水施設 1 式 取水施設 1 箇所 導水施設 導水管 3 km 浄水施設 ろ過池 1 箇所 配水施設 配水池 1 箇所 配水管 20km		
	関連事業	せたな町簡易水道事業		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,889 百万円	3,334 百万円	1.16	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：瀬棚地区営農飲雑用水施設事業計画概要表（北海道農政部農村振興局農村計画課作成）

概要図

農村整備事業 瀬棚地区

県内位置図



地区別事業概要

事業名	農村整備事業		地区名	敏音知 ^{びんおしり}
関係市町村	北海道 ^{えさしぐん} 枝幸郡 中頓別町 ^{なかつんとんべつちよう}		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道北部の中頓別町に位置し、酪農経営を中心とした営農が展開されている。 これまで地内区の営農飲雑用水施設は、道営畑地帯総合整備事業「敏音知地区」(H6～H15)により造成され、約20年が経過し、経年的な施設の劣化により電気設備の不具合及び配水管からの漏水が発生するなど、安定した営農飲雑用水の供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な労力を要している状況であり併せて災害時に対応した施設の機能強化対策が求められている。また、造成当時からの営農形態の変遷により水利用の再編も必要となっている。 このため、本事業により、機能保全計画に基づく保全対策と災害対策のための施設の耐震対策を行うことにより、安定した営農飲雑用水を確保し、維持管理の労力の軽減及び水利用の再編を行うことで、農村に安心して住み続けられる条件を整備し、農村の持続性の向上を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,622ha	69戸	1,000百万円	令和7～13年度
	主要工事	営農飲雑用水施設 1式 送水施設 送水ポンプ 5箇 送水管 0.5km 配水施設 配水池 1箇所 配水管 2km		
	関連事業	中頓別町簡易水道事業		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	7,174百万円	3,695百万円	1.94	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：敏音知地区営農飲雑用水施設事業計画概要表（北海道農政部農村振興局農村計画課作成）

農村整備事業 敏音知地区



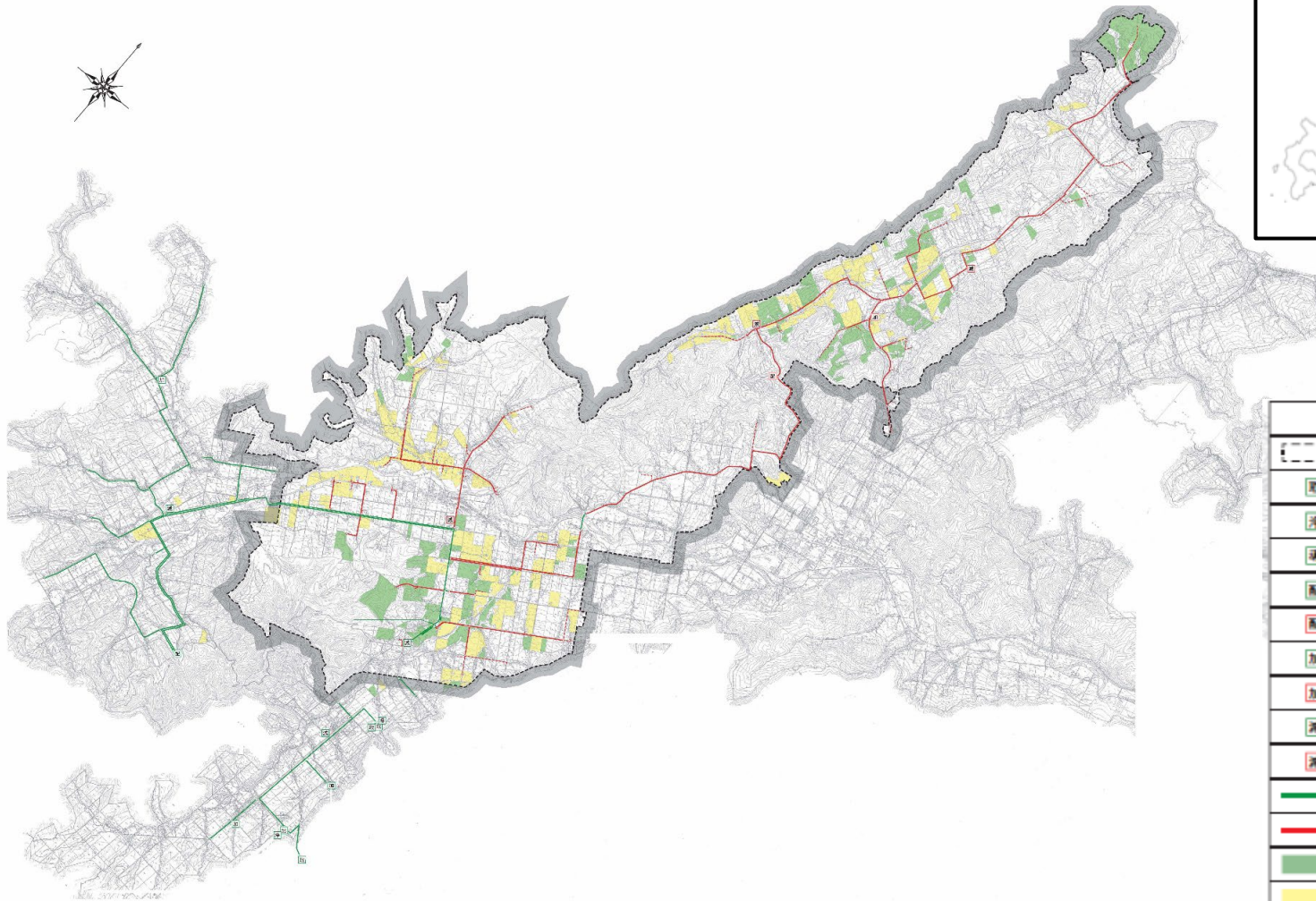
地区別事業概要

事業名	農村整備事業		地区名	若佐第2
関係市町村	北海道 常呂郡 佐呂間町		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道東部の佐呂間町に位置し、酪農経営を中心とした営農が展開されている。 これまで地区内の営農飲雑用水施設は、道営畑地帯総合整備事業「若佐地区」(S54～S58)により造成され、約45年が経過し、経年的な施設の劣化により鋼構造物の腐食及び配水管からの漏水が発生するなど、安定した営農飲雑用水の供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な労力を要している状況であり併せて災害時に対応した施設の機能強化対策が求められている。また、造成当時からの営農形態の変遷により水利用の再編も必要となっている。 このため、本事業により、機能保全計画に基づく保全対策と災害対策のための施設の耐震対策を行うことにより、安定した営農飲雑用水を確保し、維持管理の労力の軽減及び水利用の再編を行うことで、農村に安心して住み続けられる条件を整備し、農村の持続性の向上を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	850ha	232戸	3,300百万円	令和7～21年度
	主要工事	営農飲雑用水施設 1式 送水施設 9km 配水施設 配水池 1箇所 配水管 30km		
	関連事業	佐呂間町簡易水道事業		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	6,226百万円	4,281百万円	1.45	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：若佐第2地区営農飲雑用水施設事業計画概要表（北海道農政部農村振興局農村計画課作成）

概要図

農村整備事業 若佐第2地区



県内位置図



凡 例	
	地区界
	取水施設
	浄水施設
	導水ポンプ場
	配水池施設
	配水池施設(計画)
	加圧施設
	加圧施設(計画)
	減圧施設
	減圧施設(計画)
	管路(整備済)
	管路(計画)
	受益地(牧草)
	受益地(畑)